

両毛地域 エンジョイ！アクティビティー



沖縄の伝統の織物。

足利、桐生、佐野この辺りは織物が盛んな町だったというのは、皆さまの周知の事実。私も岡村も母校である足利工業高校には、過去に天皇陛下が視察に来るほど紡績などの織物が盛んだったそうです。初代校長先生の近藤徳太郎さんは、当時、内閣総理大臣と同じくらいの給与の待遇で京都から呼び寄せたという話。また、日本の最初の意匠登録は、足利から生まれている。「雲井織」だ。そんな歴史おもつ街だから、創業から90年、現在でも機織り機を作っている藤倉紡織器具店の店主、藤倉博さんは昔話を体験談を交えて話してくれた。繊維産業を間近で見ただけに、お話に深みがあるんです。実は藤倉様は現在、ご自宅のリフォーム中。亀工房のお客様。しかも実は同じ木を扱う仕事。機織り機といっても、木で作っている。私は正直、そんなに売れるものだと思わなかった。しかし、お客様は北は北海道、南は沖縄までという。先日、「愛子」というのが流行ってた。どうやってその毛を思ったわけですが、たぶれば、さらっと流れました。「ははあ〜ん。毛をよじって紡ぐんだな！」それを個人向けのコンパクトな手織り機で織るのか？謎が解けたんです。手織物をつくる趣味の方がお客様だった。施設や織物教室向けにも販売しているようですが、産業向けの大型の物は無い。



世界の工場だった日本の繊維。その重点地域のこの両毛地域で培った木の機織り機の技術は、今、個人向けの機具に姿を変えた。私はよくわからないのですが、糸引き車やわたくり機、一通りの物はすべて木で製造しているそうです。同じ木を扱うものとしては大変興味深いものでした。うちのおじいちゃんと同じくらいの年齢の藤倉様。今だ研究熱心なので驚いた。紡ぎの機具を開発しているという。もちろん木の手作り品だ。自分もそうありたい。常に前を向いて挑戦している人生。だからだろうか…。藤倉様邸リフォーム工事では、少し挑戦をさせてもらっている。出来上がりが亀工房も楽しみにしている。そのあたりは、また後日あらためてリフォームの方で紹介させていただくとして、今回は、地域の紹介ということで取り上げさせていただきました。ご興味のある方は、

こちらまで藤倉紡織機具店 0284-41-0285

✉ fujibou8@olive.ocn.ne.jp



ちょっとだけリフォームの様子。増築部分。

エンジョイ！地域アクティビティー。両毛地域（足利、佐野、小山、太田、館林、桐生）などで行われるイベント、その他の体験事などを掲載するというものです。私達のような、地域に密着した事業をさせて頂いている者にとって、街を知ることには、お客様の暮らしを知ることには他ならない事です。様々な価値観、生活スタイルは、教科書には載っていない。だから肌で感じて多くの方とのふれあいの中で知ることだと思っています。業者を参考にするのじゃなく、地域の方を参考にしよう。義務的にするじゃなく、楽しそうなら参加してみようというのが趣旨です。その活動を皆様のみて頂き、新たな地域力を皆さまにも発見してほしい！そんな願いも込めています。



亀工房では取り上げて欲しい身近なイベントや活動を募集しています！地域でのボランティアを楽しんでいる団体活動でも構いません！



亀工房

<http://www.kame-kobo.jp>

